

新技術を用いた効率的な制度
運用と低コストな不適正利用
対策の可能性



会社紹介



【グループ名】 CABC 'Sグループ
 【社員数】 933名 (2020年9月時点)
 【年商】 105億0,446万円 (2019年度実績、フォワードシステム社除く)
 【本社】 東京都千代田区丸の内1丁目7番地12号 サピアタワー26階



【会社名】 株式会社Q'sfix 【設立】 1976年1月24日 【資本金】 3億1,680万円
 【社員数】 829名 (2020年9月時点) 【年商】 97億7,800万円 (2019年12月度実績)
 【本社】 東京都千代田区丸の内1丁目7番地12号 サピアタワー26階
 【藤沢オフィス】 神奈川県藤沢市朝日町10番6 Wips藤沢
 【練馬オフィス】 東京都練馬区北町1丁目41番20号 DKHビル
 【青森オフィス】 青森県青森市第二問屋町4丁目11番18号
 ソフトアカデミーあおもりビル3F



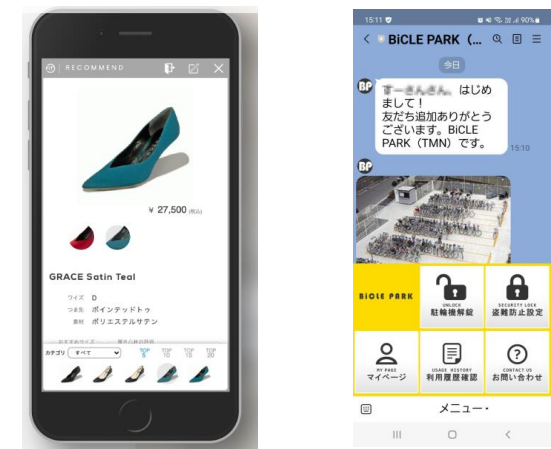
【会社名】 パトコア株式会社 【設立】 2003年2月6日 【資本金】 2,000万円
 【社員数】 8名 (2020年9月時点) 【年商】 6億3,342万円 (2019年度実績)
 【本社】 東京都千代田区丸の内1丁目7番地12号 サピアタワー26階



【会社名】 フォワードシステム株式会社
 【設立】 1987年6月 【資本金】 1,000万円
 【社員数】 31名 (2020年4月時点)
 【年商】 2億9,000万円 (2020年3月期実績)
 【東京本社】 東京都千代田区丸の内1丁目7番地12号 サピアタワー26階
 【福井本社】 福井県福井市問屋町四丁目718番地



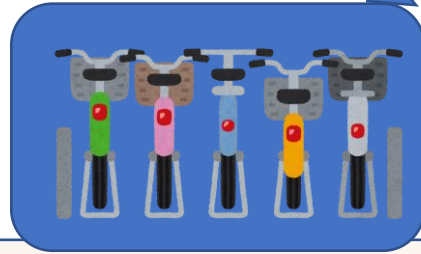
【会社名】 CABC 'S Group India Technologies Private Limited
 【設立】 2018年7月13日 【資本金】 4,000万円
 【社員数】 65名 (2020年9月時点) 【年商】 8,889万円 (2019年度実績)
 【本社】 CRN Square, No.15, 2nd Floor, Kasturba Road,
 Bangalore 560-001 India



完全キャッシュレス駐輪場システム紹介



小規模駐輪場



街や駅前などの遊休地を小規模駐輪場として活用
現金清算をなくした「完全キャッシュレス」システム
商店街などの空き地の有効利用

<目指しているゴール>

自転車だけではなく、車、パーソナルモビリティ、スマートロッカーなどを総合的に活用する街角ステーション・プラットフォーム。

ステーションのBeaconデータ等を活用したオンライン上での行動に基づいた広告配信サービスも視野







将来構想

今後の取組の可能性1 効率的な制度運用・低コストな不適正利用対策

既存駐車場に容易に設置可能なセンサーを利用。電子利用証で不適正駐車を自動検出し、不適正利用をした者のナンバープレートを読み取りし警告をサイネージに表示したり警告放送を流す。また施設管理者のスマホ等に、不適正駐車検知を配信する等で、警告を実施。このような取組が可能となれば、低コストな不適正利用対策が実現する可能性がある。

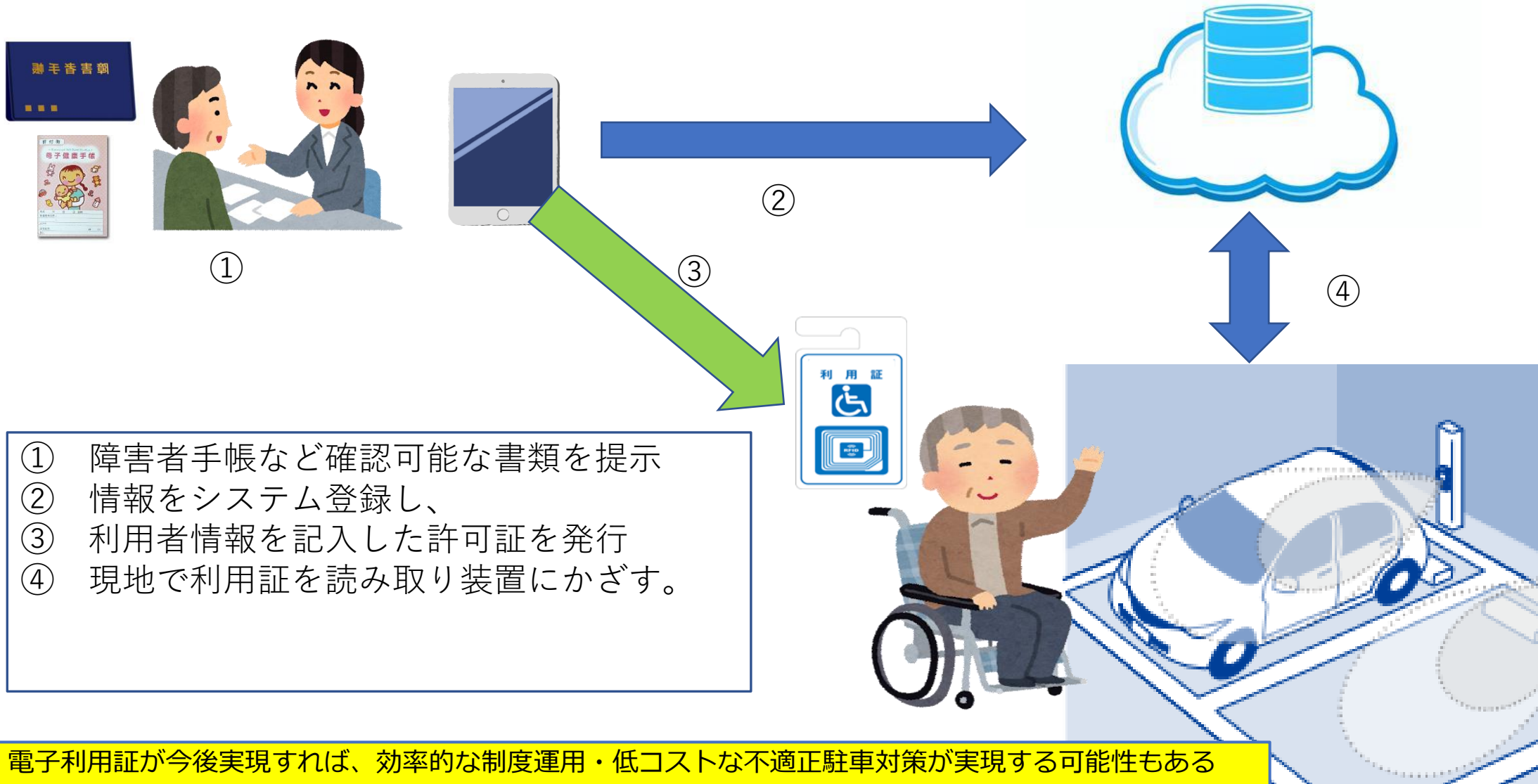


電子利用証についての可能性

外 観	認証方法	メリット	デメリット
	新2次元コード	ホルダーデザインが自由 再発行が容易 安価 偽装が困難	発行にプリンタが必要 リーダにコードをかざす必要がある。
	RFID/NFC	偽装が困難 読み取り距離を長くすることが可能	高い 再発行が面倒 リーダにタグをかざす必要がある。
	マイナンバーカード	カードを発行する必要がない マイナポータルなどとも連携可能	普及率がいまだに低い リーダにカードをかざす必要がある。
	ビーコンタグ (Bluetooth)	車内から操作可能	電池交換が必要 高価 複数同時の場合の誤認識

注) 2次元コードは偽装対策が完璧な製品を前提にしております。

電子利用証発行・利用イメージ



今後の取組の可能性 2

塗装の工夫

- 夜間を含めて目立つ色で塗装
- 耐久性に富み長期間剥がれない塗料を採用
- 熱中症対策にも効果的な「涼感塗装」を採用し路面温度を下げる(☆)

☆車椅子使用者は路面に近いいため路面温度の影響を受けやすい場合がある事等を考慮。



沖縄県工場技術センター実証実験より